令和7年度大規模輸出産地モデル形成等支援事業事例

事業実施主体：九州みかん輸出拡大協議会
品目　　：温州みかん、ゆず等

	令和6年度	令和7年度	前年比
輸出額	約4,846万円	約5,260万円	109%
輸出量	約62トン	約73トン	118%





協議会の輸出用8kg・4kgサイズ段ボールのバンニング風景

課題	取組	成果
台湾・ベトナム向け輸出要件への対応 ✓（台湾）残留農薬基準への対応 ✓（ベトナム）植物検疫と査察対応	**輸出産地体制の構築** ✓（台湾）専用園地の選定・管理、防除検討会、自主残留農薬検査の実施 ✓（ベトナム）既存産地にJAながさき県央を追加、ミカンバエ調査等の輸出産地づくり	**輸出対応産地の拡大** ✓（台湾）前年比 約6.5倍 ✓（ベトナム）前年比 約1.03倍
複雑な流通経路による品質低下と産地手取りの減少 ✓ 産地選果場から直送でなければ腐敗が増加 ✓ 複雑な商流では産地の手取りが減少	**市場を介さない効率的な輸出物流の構築** ✓ 青果市場等を介さずに港へ直送 ✓ 市場スライド型の上乗せ単価で産地還元	**品質保持と産地収益の向上** ✓ シーズンを通して、国内市場出荷よりも約20%多く産地へ所得を還元
低効率なパレット積載で輸送コストが増大 ✓ 出荷箱はT11型パレットへの適合性が低い ✓ 積載時の不安定化により荷崩れや品質低下	**T11型パレット適合の輸出用段ボール改良** ✓ パレット適合の輸出用強化箱の開発・改良 ✓ パレット積載方法の検討 ✓ 鮮度保持剤（セルアシスト等）の併用	**コンテナ積載効率の向上と出荷ロスの低減** ✓ パレットに適合した出荷箱の導入により、コンテナ積載可能量が従来比1.4～1.9倍に ✓ 荷崩れリスクの低減による出荷ロスの抑制 ✓ セルアシストの一定の腐敗防止効果を確認